



発行所 磐城日日新聞社 福島県磐城市清田5-1 電話代表387番 編集長 比佐不二夫



デケツト御利用下さい

磐城市議會質問戦績

決算保留で一もみ

暗底流となる退職金問題

磐城市第五回定例会議 二日(七月二日)は各議員による質問戦が午前中に引き続き午後一時過ぎ再開された。

集中される鹿島委託

志賀委員 拒否せよと主張

三日の本議会は定例の午前十時、五十四議員が出席、過半数により議長席に江尻副議長が昇壇議長に代り開会を宣してひらかれ、きよくに持越された質問戦の火蓋が木村(功)議員から鋭く行われ、木村市長は選挙戦當時の市納税につきその概況まで追いつかぬと申し述べている。

整理の方法を具体的に示すこと、先づ財政方針演説には一言も觸れていない。現在この問題を整理するためには、具体的な方法を示す必要がある。その方法として納税組による普通強固な文化団体の確立と、協力による経済的打撃を軽減し、社会性を醸成することが出来る道である。

吉田(泉) 専決條例を衝く 市の人口三萬以上の都市と云うが、本市は均等制二百円、縣費百円の計三百円であるが、何うしたわけか。佐藤財務課長「只今人口三萬以上とあつたのは市町村内における文化団体の連繋こそ必要となる。常設市は既に青年文化協会の結成済み、その第一回事業として會員の協力による演劇公演會に成功をおさめている。勿論その現在が完全とは決して云い難いが完全性を求めて何ら成さぬより改善を求めて行動し、行動による改善の要諦である。故に各種文化団体の存続性を社会に求めて福園にして廣範な文化組織を構成することを強く主張せねばならぬ。

今日の主張

文化団体の生きる路

自主的連繋組織の確立を 比佐 凡風

社会の落着きから更に近き未来へ變動しようとする今日、眞の意味の文化運動の社会的重要性の大なる時機はあつた。昭和二十三年社会教育法が制定され、公民館運動の活発なるにつれて各種文化団体の誕生、成長は

終戦以來ヒソヒソと興隆の歴史をつつた各種文化団体存続の鍵はこの経済面に伏存されて来た。論を要しない、またその経済基盤を根本的に破壊しようとするとき、これら文化団体の社会的存在意義がまた増大されて来るのである。この隘路を打開し、生長しようとするには、一役所の官庁仕事ではなく、又一社会教育事業家のあがきでもなく、眞に覺醒したところの個人の結果

木田(谷) 市長は委員の意志を尊重するといわれるが、当時委員は受入れを拒否したにもかかわらず、これを理事者側は受託した。それが眞の答である。木村(功) 市長のエチケツトにも程がある。御賢明とか、最高の敬意などと言葉の回し方、三部落問題につき市長としての信念ある回答を求めたい。市長「教育委員会も正式公文書による陳情を受けているので、私が議院を尊重すると同様、教育委員会も尊重したい。よつて問題の審議は委員会の権限にまかせる、無論、私も信念は持つているが、今日では市長として同問題の所信を発表する時機ではない。

吉田(泉) 市長は委員の意志を尊重するといわれるが、当時委員は受入れを拒否したにもかかわらず、これを理事者側は受託した。それが眞の答である。木村(功) 市長のエチケツトにも程がある。御賢明とか、最高の敬意などと言葉の回し方、三部落問題につき市長としての信念ある回答を求めたい。市長「教育委員会も正式公文書による陳情を受けているので、私が議院を尊重すると同様、教育委員会も尊重したい。よつて問題の審議は委員会の権限にまかせる、無論、私も信念は持つているが、今日では市長として同問題の所信を発表する時機ではない。

大旅館 磐城市沖見町 電話三七番

御商談に 御休憩に 静かなお座敷を

椅子張り替並に修理 三光椅子店 磐城市後宿22

女中さん急募 御紋 盆提灯の御用名は 浅見紋店へ

求外務社員 男女年令不問希望者は 本社業務部

46日 しかも全女性の紅涙を絞る村上元 三の評判小説の映画化!

君の名は ナフト錠 どの名な胃腸病でも効く

浅見紋店 御紋 盆提灯の御用名は 浅見紋店へ

時 金 小名決 駆る

石井醫院 入院 外科 性病科 レントゲン科

